



# Cisco HyperFlex システム サーバのインストール

この章では、HyperFlex クラスタをセットアップするために物理コンポーネントをインストールする方法について説明します。

- [Cisco HyperFlex ノードの設置 \(1 ページ\)](#)
- [ファブリック インターコネクトをセットアップする \(2 ページ\)](#)
- [Cisco UCS ファブリック インターコネクトへの HX シリーズ サーバの接続 \(11 ページ\)](#)
- [概要 \(11 ページ\)](#)

## Cisco HyperFlex ノードの設置

HyperFlex クラスタとノードの制限の詳細については、[Cisco HX データ プラットフォームのリリース ノート](#)の最新バージョンで、[Cisco HX データ プラットフォーム ストレージ クラスタ仕様](#)を参照してください。

Cisco HyperFlex ノードのインストールの詳細については、次の表からそれぞれのリンクを参照してください。

インストール先のノードのタイプ	参照先
コンバージドノード	
HyperFlex HX220c M4/M5 ノード	<a href="#">Cisco HyperFlex HX220c M4/M5 ノードインストール ガイド</a>
HyperFlex HX240c M4/M5 ノード	<a href="#">Cisco HyperFlex HX240c M4/M5 ノードインストール ガイド</a>
コンピューティング専用ノード	
Cisco UCS B200 M3/M4/M5 ノード	<a href="#">Cisco UCS B200 M3/M4/M5 ブレード サーバ設置/サービス ノート</a>

インストール先のノードのタイプ	参照先
Cisco UCS B260 M4 ノード、B460 M4 ノード	E7 v4 CPU 搭載サーバ向け <a href="#">Cisco UCS B260 M4 および B460 M4 ブレード サーバ設置および サービス ノート</a>  E7 v3、E7 v2 の CPU 搭載サーバ向け <a href="#">Cisco UCS B260 M4、B460 M4 ブレード サーバ設置および サービス ノート</a>
Cisco UCS B420 M4 ノード	<a href="#">Cisco UCS B420 M4 ブレード サーバ設置および サービス ノート</a>
Cisco UCS B480 M5 ノード	<a href="#">Cisco UCS B480 M5 ブレード サーバ設置および サービス ノート</a>
Cisco UCS C240 M3/M4/M5 ラック ノード	<a href="#">Cisco UCS C240 M3/M4/M5 サーバ設置および サービス ガイド</a>
Cisco UCS C220 M3/M4/M5 ラック ノード	<a href="#">Cisco UCS C220 M3/M4/M5 サーバ設置および サービス ガイド</a>
Cisco UCS C480 M5 ノード	<a href="#">Cisco UCS C480 M5 サーバ設置および サービス ガイド</a>
Cisco UCS C460 M4 ノード	<a href="#">Cisco UCS 460 M4 サーバ設置および サービス ガイド</a>

## ファブリック インターコネクタをセットアップする

高度な可用性をもたらすため、次のようにファブリック インターコネクタの冗長ペアを設定します。

1. L1 または L2 の高可用性ポート間で、イーサネット ケーブルを使用して直接 2 つのファブリック インターコネクタに接続します。
2. ファブリック インターコネクタ A 上のポート L1 を ファブリック インターコネクタ B 上のポート L1 に接続し、ファブリック インターコネクタ A 上のポート L2 をファブリック インターコネクタ B 上のポート L2 に接続します。

これにより、2 つのファブリック インターコネクタは、互いのステータスを継続的にモニタします。

ファブリック インターコネクタを接続する前に、以下の情報を確認し取得します。

項目	説明
ファブリック インターコネクットの物理的な接続を確認します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1のファブリック インターコネクットのコンソールポートが、コンピュータまたはコンソールサーバに物理的に接続されています。</li> <li>管理イーサネット ポート (mgmt0) が外部のハブ、スイッチ、またはルータに接続されている必要があります。</li> <li>両方のファブリック インターコネクットのL1ポートが互いに直接接続されている必要があります。</li> <li>両方のファブリック インターコネクットのL2ポートが互いに直接接続されている必要があります。</li> </ul>
コンピュータ端末でのコンソールポート パラメータを確認します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>9600 ボー</li> <li>8 データ ビット</li> <li>パリティなし</li> <li>1 ストップ ビット</li> </ul>
初期設定の情報を取得します。	<p>初期設定に関する次の情報を収集します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システム名</li> <li>admin アカウントのパスワード</li> <li>3つの静的 IP アドレス</li> <li>3つの静的 IP アドレスのサブネット マスク</li> <li>デフォルト ゲートウェイの IP アドレス</li> <li>DNS サーバの IP アドレス。</li> <li>システムのドメイン名</li> </ul>

両方のファブリック インターコネクットで、同じセットアッププロセスを実施する必要があります。第1のファブリック インターコネクットをセットアップし、クラスタ設定を有効にします。次に、同じプロセスを使用して第2のファブリック インターコネクットを設定すると、最初のファブリック インターコネクットがピアとして検出されます。

## GUIによるプライマリ ファブリック インターコネクットの設定

プライマリ ファブリック インターコネクットを設定するための下記の手順に従うか、「[Cisco UCS Manager Initial Setup part 1](#)」をご覧ください。

- ステップ 1** ファブリック インターコネクットの電源を入れます。  
ファブリック インターコネクットが起動すると、電源投入時セルフテストのメッセージが表示されます。
- ステップ 2** システムがリリースを取得したら、手順 6 に進みます。それ以外の場合は次の手順に進みます。
- ステップ 3** コンソール ポートに接続します。
- ステップ 4** インストール方式プロンプトに **gui** と入力します。
- ステップ 5** システムが DHCP サーバにアクセスできない場合は、次の情報を入力するよう求められます。
- ファブリック インターコネクットの管理ポートの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。
  - ファブリック インターコネクットの管理ポートの IPv4 サブネット マスクまたは IPv6 プレフィックス。
  - ファブリック インターコネクットに割り当てられたデフォルト ゲートウェイの IPv4 または IPv6 アドレス。
- (注) クラスタ設定では、設定時に両方のファブリック インターコネクットに同じ管理インターフェイスのアドレス タイプを割り当てる必要があります。
- ステップ 6** プロンプトから、Web ブラウザに Web リンクをコピーし、Cisco UCS Manager GUI 起動ページに移動します。
- ステップ 7** Cisco UCS Manager GUI 起動ページで [Express Setup] を選択します。
- ステップ 8** [Express Setup] ページで [Initial Setup] を選択し、[Submit] をクリックします。
- ステップ 9** [Cluster and Fabric Setup] 領域で、以下の操作を行います。
- a) [Enable Clustering] オプションをクリックします。
  - b) [Fabric Setup] オプションに対して [Fabric A] を選択します。
  - c) [Cluster IP Address] フィールドに、Cisco UCS Manager で使用する IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。
- ステップ 10** [System Setup] 領域で、次のフィールドに値を入力します。

フィールド	説明
[System Name] フィールド	Cisco UCS ドメインに割り当てる名前。 スタンドアロン設定では、システム名に「-A」が追加されます。クラスタ設定では、ファブリック A に割り当てられたファブリック インターコネクットに「-A」が、ファブリック B に割り当てられたファブリック インターコネクットに「-B」が追加されます。

フィールド	説明
[Admin Password] フィールド	ファブリック インターコネクタ上の Admin アカウントに使用されるパスワード。  Cisco UCS Manager のパスワードのガイドラインに適合する強力なパスワードを選択します。このパスワードは空にできません。
[Confirm Admin Password] フィールド	ファブリック インターコネクタ上の Admin アカウントに使用されるパスワード。
[Mgmt IP Address] フィールド	ファブリック インターコネクタの管理ポートのステティック IPv4 または IPv6 アドレス。
[Mgmt IP Netmask] フィールドまたは [Mgmt IP Prefix] フィールド	ファブリック インターコネクタの管理ポートの IPv4 サブネット マスクまたは IPv6 プレフィクス。  (注) [Mgmt IP Address] フィールドに入力したアドレスタイプに基づいて、システムから [Mgmt IP Netmask] または [Mgmt IP Prefix] への入力が求められます。
[Default Gateway] フィールド	ファブリック インターコネクタ上の管理ポートに割り当てられるデフォルトゲートウェイの IPv4 または IPv6 アドレス。  (注) [Mgmt IP Address] フィールドに入力したアドレスタイプに基づいて、システムから [Default Gateway] アドレスタイプへの入力が求められます。
[DNS Server IP] フィールド	ファブリック インターコネクタに割り当てられる DNS サーバの IPv4 または IPv6 アドレス。
[Domain Name] フィールド	ファブリック インターコネクタが存在するドメインの名前。

**ステップ 11** [Submit] をクリックします。  
セットアップ操作の結果がページに表示されます。

## GUIによる従属ファブリック インターコネクタの設定

従属ファブリック インターコネクタを設定するための下記の手順に従うか、「[Cisco UCS Manager Initial Setup part 2](#)」をご覧ください。

- ステップ 1** ファブリック インターコネクットの電源を入れます。  
ファブリック インターコネクットが起動すると、電源投入時セルフテスト メッセージが表示されます。
- ステップ 2** システムがリリースを取得したら、手順 6 に進みます。それ以外の場合は次の手順に進みます。
- ステップ 3** コンソール ポートに接続します。
- ステップ 4** インストール方式プロンプトに **gui** と入力します。
- ステップ 5** システムが DHCP サーバにアクセスできない場合は、次の情報を入力するよう求められます。
- ファブリック インターコネクットの管理ポートの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス
  - ファブリック インターコネクットの管理ポートの IPv4 サブネット マスクまたは IPv6 プレフィックス
  - ファブリック インターコネクットに割り当てられたデフォルト ゲートウェイの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス
- (注) クラスタ設定では、設定時に両方のファブリック インターコネクットに同じ管理インターフェイスのアドレス タイプを割り当てる必要があります。
- ステップ 6** プロンプトから、Web ブラウザに Web リンクをコピーし、Cisco UCS Manager GUI 起動ページに移動します。
- ステップ 7** Cisco UCS Manager GUI 起動ページで [Express Setup] を選択します。
- ステップ 8** [Express Setup] ページで [Initial Setup] を選択し、[Submit] をクリックします。  
ファブリック インターコネクットは、第 1 ファブリック インターコネクットの設定情報を検出します。
- ステップ 9** [Cluster and Fabric Setup] 領域で、以下の操作を行います。
- a) [Enable Clustering] オプションを選択します。
  - b) [Fabric Setup] オプションに対して [Fabric B] が選択されていることを確認します。
- ステップ 10** [System Setup] 領域の [Admin Password of Master] フィールドに Admin アカウントのパスワードを入力します。  
[Manager Initial Setup] 領域が表示されます。
- ステップ 11** [Manager Initial Setup] 領域で表示されるフィールドは、第 1 ファブリック インターコネクットを IPv4 または IPv6 のどちらの管理アドレスで設定したかによって異なります。次のように、設定に適したフィールドに入力します。

フィールド	説明
[Peer FI is IPv4 Cluster enabled. Please Provide Local Fabric Interconnect Mgmt0 IPv4 Address] フィールド	ローカルファブリック インターコネクットの Mgmt0 インターフェイスの IPv4 アドレスを入力します。
[Peer FI is IPv6 Cluster Enabled. Please Provide Local Fabric Interconnect Mgmt0 IPv6 Address] フィールド	ローカルファブリック インターコネクットの Mgmt0 インターフェイスの IPv6 を入力します。

- ステップ 12** [Submit] をクリックします。`

セットアップ操作の結果がページに表示されます。

## CLIによるプライマリ ファブリック インターコネクタの設定

- ステップ 1** コンソール ポートに接続します。
- ステップ 2** ファブリック インターコネクタの電源を入れます  
ファブリック インターコネクタが起動すると、電源投入時セルフテスト メッセージが表示されます。
- ステップ 3** 設定されていないシステムがブートすると、使用する設定方法の入力を要求するプロンプトが表示されます。 **console** と入力して、コンソール CLI を使用した初期設定を続行します。
- ステップ 4** **setup** と入力して、初期システム設定を続行します。
- ステップ 5** **y** と入力して、初期設定を続行することを確認します。
- ステップ 6** **admin** アカウントのパスワードを入力します。
- ステップ 7** 確認のために、**admin** アカウントのパスワードを再入力します。
- ステップ 8** **yes** と入力して、クラスタ構成の初期設定を続行します。
- ステップ 9** ファブリック インターコネクタのファブリックを入力します (**A** または **B**) 。
- ステップ 10** システム名を入力します。
- ステップ 11** ファブリック インターコネクタの管理ポートの IPv4 または IPv6 アドレスを入力します。  
IPv4 アドレスを入力する場合は、IPv4 サブネットマスクを入力するように求められます。IPv6 アドレスを入力する場合は、IPv6 ネットワーク プレフィックスを入力するように求められます。
- ステップ 12** 各 IPv4 サブネットマスク、または IPv6 ネットワーク プレフィックスを入力し、**Enter** キーを押します。  
ファブリック インターコネクタの管理ポート用に入力したアドレスタイプによって、デフォルトゲートウェイの IPv4 または IPv6 アドレスを求められます。
- ステップ 13** 次のいずれかを入力します。
- IPv4 address of the default gateway
  - デフォルト ゲートウェイの IPv6 アドレス
- ステップ 14** DNS サーバの IP アドレスを指定する場合は **yes** を入力し、指定しない場合は **no** を入力します。
- ステップ 15** (任意) DNS サーバの IPv4 または IPv6 アドレスを入力します。  
アドレスタイプはファブリック インターコネクタの管理ポートのアドレスタイプと同じである必要があります。
- ステップ 16** デフォルトのドメイン名を指定する場合は **yes** を入力し、指定しない場合は **no** を入力します。
- ステップ 17** (任意) デフォルト ドメイン名を入力します。
- ステップ 18** 設定の概要を確認し、**yes** と入力して設定を保存および適用するか、**no** と入力して設定ウィザードを初めからやり直して設定を一部変更します。

設定ウィザードのやり直しを選択した場合は、以前に入力した値が角カッコで囲まれて表示されます。以前に入力した値をそのまま使用する場合は、Enter を押します。

## 例

次に、コンソールおよび IPv4 管理アドレスを使用してクラスタ設定の最初のファブリック インターコネクトをセットアップする例を示します。

```
Enter the installation method (console/gui)? console
Enter the setup mode (restore from backup or initial setup) [restore/setup]? setup
You have chosen to setup a new switch. Continue? (y/n): y
Enter the password for "admin": adminpassword%958
Confirm the password for "admin": adminpassword%958
Do you want to create a new cluster on this switch (select 'no' for standalone setup or
if you want this switch to be added to an existing cluster)? (yes/no) [n]: yes
Enter the switch fabric (A/B): A
Enter the system name: foo
Mgmt0 IPv4 address: 192.168.10.10
Mgmt0 IPv4 netmask: 255.255.255.0
IPv4 address of the default gateway: 192.168.10.1
Virtual IPv4 address: 192.168.10.12
Configure the DNS Server IPv4 address? (yes/no) [n]: yes
DNS IPv4 address: 20.10.20.10
Configure the default domain name? (yes/no) [n]: yes
Default domain name: domainname.com
Join centralized management environment (UCS Central)? (yes/no) [n]: no
Following configurations will be applied:
Switch Fabric=A
System Name=foo
Management IP Address=192.168.10.10
Management IP Netmask=255.255.255.0
Default Gateway=192.168.10.1
Cluster Enabled=yes
Virtual Ip Address=192.168.10.12
DNS Server=20.10.20.10
Domain Name=domainname.com
Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no): yes
```

次に、コンソールおよび IPv6 管理アドレスを使用してクラスタ設定の最初のファブリック インターコネクトをセットアップする例を示します。

```
Enter the installation method (console/gui)? console
Enter the setup mode (restore from backup or initial setup) [restore/setup]? setup
You have chosen to setup a new switch. Continue? (y/n): y
Enter the password for "admin": adminpassword%652
Confirm the password for "admin": adminpassword%652
Do you want to create a new cluster on this switch (select 'no' for standalone setup or
if you want this switch to be added to an existing cluster)? (yes/no) [n]: yes
Enter the switch fabric (A/B): A
Enter the system name: foo
Mgmt0 address: 2001::107
Mgmt0 IPv6 prefix: 64
IPv6 address of the default gateway: 2001::1
Configure the DNS Server IPv6 address? (yes/no) [n]: yes
DNS IP address: 2001::101
Configure the default domain name? (yes/no) [n]: yes
Default domain name: domainname.com
```



```

Join centralized management environment (UCS Central)? (yes/no) [n]: no
Following configurations will be applied:
  Switch Fabric=A
  System Name=foo
  Enforced Strong Password=no
  Physical Switch Mgmt0 IPv6 Address=2001::107
  Physical Switch Mgmt0 IPv6 Prefix=64
  Default Gateway=2001::1
  Ipv6 value=1
  DNS Server=2001::101
  Domain Name=domainname.com
Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no): yes

```



- (注) Cisco UCS ファブリック インターコネクタには、高可用性およびクラスタ化設定の初期設定のために使用されるいくつかのコマンドが含まれています。**cluster-start** コマンドは、初期設定時に使用できます。このコマンドは、非表示コマンドです。ただし、Cisco TAC 管理者などの認証された管理者によりいつでも実行でき、設定またはメンテナンスのための使用は意図されていません。

## CLIによる従属ファブリック インターコネクタの設定

この手順は、管理ポートに対し IPv4 または IPv6 アドレスを使用して第2のファブリック インターコネクタをセットアップする方法について説明します。

- ステップ1** コンソールポートに接続します。
- ステップ2** ファブリック インターコネクタの電源を入れます。  
ファブリック インターコネクタが起動すると、電源投入時セルフテストメッセージが表示されます。
- ステップ3** 設定されていないシステムがブートすると、使用する設定方法の入力を要求するプロンプトが表示されず。**console** と入力して、コンソール CLI を使用した初期設定を続行します。

(注) ファブリック インターコネクタによって、クラスタ内のピア ファブリック インターコネクタが検出されます。検出されなかった場合は、L1 ポートと L2 ポート間の物理接続を調べ、ピア ファブリック インターコネクタがクラスタ設定でイネーブルになっていることを確認します。

- ステップ4** **y** と入力して、従属ファブリック インターコネクタをクラスタに追加します。
- ステップ5** ピア ファブリック インターコネクタの管理パスワードを入力します。
- ステップ6** 従属ファブリック インターコネクタ上の管理ポートの IP アドレスを入力します。
- ステップ7** 設定の概要を確認し、**yes** と入力して設定を保存および適用するか、**no** と入力して設定ウィザードを初めからやり直して設定を一部変更します。

設定ウィザードのやり直しを選択した場合は、以前に入力した値が角カッコで囲まれて表示されます。以前に入力した値をそのまま使用する場合は、**Enter** を押します。

**例**

次に、ピアのコンソールおよび IPv4 アドレスを使用してクラスタ設定の第 2 のファブリック インターコネクートをセットアップする例を示します。

```
Enter the installation method (console/gui)? console
Installer has detected the presence of a peer Fabric interconnect. This Fabric interconnect
will be added to the cluster. Continue (y/n) ? y
Enter the admin password of the peer Fabric Interconnect: adminpassword%958
Peer Fabric interconnect Mgmt0 IPv4 Address: 192.168.10.11
Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no): yes
```

次に、ピアのコンソールおよび IPv6 アドレスを使用してクラスタ設定の第 2 のファブリック インターコネクートをセットアップする例を示します。

```
Enter the installation method (console/gui)? console
Installer has detected the presence of a peer Fabric interconnect. This Fabric interconnect
will be added to the cluster. Continue (y/n) ? y
Enter the admin password of the peer Fabric Interconnect: adminpassword%958
Peer Fabric interconnect Mgmt0 IPv6 Address: 2001::107
Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no): yes
```

## コンソール セットアップの確認

SSH を介してファブリック インターコネクートにログインすることで、両方のファブリック インターコネクートが完了していることを確認できます。

Cisco UCS Manager CLI を使用してクラスタのステータス確認するには、次のコマンドを使用します。

表 1:

コマンド	目的	出力の例
<b>show cluster state</b>	ハイアベイラビリティクラスタの両方のファブリック インターコネクートの動作状態およびリーダーシップ ロールを表示します。	次の例の表示では、両方のファブリック インターコネクートが Up 状態、HA が Ready 状態、ファブリック インターコネクート A がプライマリ ロール、ファブリック インターコネクート B が従属ロールです。  UCS-A# show cluster state Cluster Id: 0x4432f72a371511de-0xb97c000de1blada4  A: UP, PRIMARY B: UP, SUBORDINATE HA READY

コマンド	目的	出力の例
<code>show cluster extended-state</code>	クラスタの状態を詳細に表示します。通常は問題をトラブルシューティングする場合に使用します。	<pre> 次の例は、クラスタの詳細な状態を表示する方法について示します。  UCSC# show cluster extended-state 0x2e95dead0d11e2-0x8ff35147e84f3de2Start time: Thu May 16 06:54:22 2013 Last election time: Thu May 16 16:29:28 2015 System Management Viewing the Cluster State A: UP, PRIMARY B: UP, SUBORDINATE  A: memb state UP, lead state PRIMARY, mgmt services state: UP B: memb state UP, lead state SUBORDINATE, mgmt services state: UP heartbeat state PRIMARY_OK HA READY Detailed state of the device selected for HA quorum data:  Device 1007, serial: a66b4c20-8692-11df-bd63-1b72ef3ac801, state: active Device 1010, serial: 00e3e6d0-8693-11df-9e10-0f4428357744, state: active Device 1012, serial: 1d8922c8-8693-11df-9133-89fa154e3fa1, state: active </pre>

## Cisco UCS ファブリック インターコネクタへの HX シリーズ サーバの接続

### 概要

Cisco HX220c および HX240c サーバはファブリック インターコネクタに直接接続します。直接接続することで、Cisco UCS Manager は管理トラフィックとデータトラフィックの両方に対し、1つのケーブルを使用して HX シリーズ サーバを管理できます。



- (注) サーバをファブリック インターコネクタに接続した後、そのサーバが検出された時点で、UCS Manager 設定フォームを使用して、Cisco UCS Managerで使用可能な C シリーズ ソフトウェア バンドルを更新します。

直接接続モードを使用する場合は、すべての Cisco UCS 管理対象アダプタを、ファブリック インターコネクタのサーバポートに接続する必要があります。「要件」の章に記載されているように、HX サーバに推奨されるファームウェアがあることを確認します。推奨ファームウェアがない場合は、Cisco UCS Managerを使用してファームウェアを更新します。

構成の制限については、[Cisco UCS 6200, 6332, and 6324 Series Configuration Limits for Cisco UCS Manager](#)をご覧ください。

## ファブリック インターコネクタへのコンバージド ノードの接続

このトピックでは、HX クラスタの作成または既存の HX クラスタへの追加のために、コンバージド ノードを物理的に追加する方法について説明します。

### 始める前に



#### 重要

- Cisco UCS Managerと統合する前に、CIMC サーバを出荷時のデフォルト設定に設定します。
- 統合ノード用には、専用 CIMC ポートをネットワークに接続しないでください。そのようにすると、Cisco UCS Managerでサーバが検出されなくなります。サーバが検出されない場合は、各サーバの CIMC を出荷時の設定にリセットします。
- CIMC サーバを接続する前に、Cisco UCS Managerとの統合用に Cisco VIC 1227 が **Hxc240 スロット 2 および Hxc220 ライザ 1 スロット 1** に装着されていることを確認します。カードが正しいスロットに装着されていない場合、サーバの直接接続管理を有効にできません。
- ファブリック インターコネクタへのサーバの物理的なケーブル接続を完了し、ポートをサーバポートとして設定します。

**ステップ 1** ラックに HX サーバを設置します。詳細については、[Cisco HyperFlex ノードの設置 \(1 ページ\)](#) を参照してください。

**ステップ 2** ファブリック インターコネクタのサーバポートを構成します。

- a) サーバ上の一方のポートから 10-Gb SFP+ ケーブルをファブリック インターコネクタ A に接続します。ファブリック インターコネクタ A の任意のポートを使用できますが、サーバトラフィックに対応可能なポートでなければなりません。

1 枚のカードの VIC からファブリック インターコネクต์に 1 本のケーブルを接続します。両方のポートを同じファブリック インターコネクต์に接続しないでください。

- b) そのポートをサーバポートとして FI-A で設定します。詳細な手順については、『[Cisco UCS Manager Network Management Guide](#)』の「*Configuring Port Modes for a 6248 Fabric Interconnect*」の項を参照してください。
- c) サーバ上のもう一方のポートから 10-Gb SFP+ ケーブルを FI B に接続します。FI B の任意のポートを使用できますが、サーバトラフィックに対応可能なポートでなければなりません。  
(注) アップリンクで SFP+ タイプを混在使用しないでください。混在させると、「Discovery Failed」エラーが表示されます。
- d) そのポートをサーバポートとして FI-B で設定します。詳細な手順については、『[Cisco UCS Manager Network Management Guide](#)』の「*Configuring Port Modes for a 6248 Fabric Interconnect*」の項を参照してください。

**ステップ 3** 電源コードをノードの各電源装置に接続し、次に接地された AC 電源コンセントに接続します。初期ブート時に、スタンバイ電源でノードを起動させるのに約 2 分間待ちます。

- (注)
  1. 電源を入れると、ファブリックインターコネクต์によってサーバが検出されます。UCS Manager でノードの検出を監視できます。
  2. 前面パネルのノードの電源ステータス LED を調べて、ノードの電源ステータスを確認します。LED がオレンジの場合、ノードはスタンバイ電源モードです。

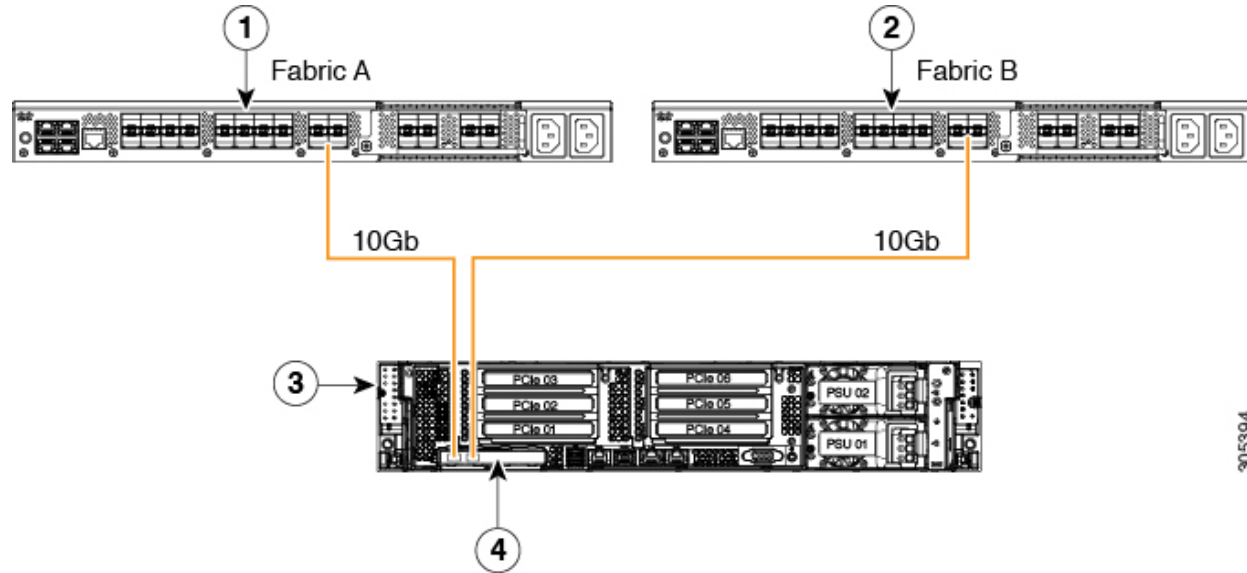
**ステップ 4** ステップ 1 ~ 4 を繰り返し、HyperFlex クラスターの残りの HX シリーズ サーバを接続します。

---

## 物理的な接続の図

次の図に、直接接続モードでの HX シリーズ サーバと Cisco UCS Manager の統合のための配線設定を示します。ゴールドで示されたパスでは、管理トラフィックとデータトラフィックの両方が伝送されます。

図 1: 直接接続の配線設定



1	Cisco UCS 6248 シリーズ ファブリック インターコネクต์ (ファブリック A)	3	HX シリーズ サーバ
2	Cisco UCS 6248 シリーズ ファブリック インターコネクต์ (ファブリック B)	4	サポート対象の mLOM スロット内の Cisco UCS VIC 1227

## ファブリックインターコネクต์へのコンピューティング専用ノードの接続

このトピックでは、既存の HyperFlex クラスタにコンピューティング専用ノードを物理的に追加する方法について説明します。



(注) HyperFlex ストレージクラスタを作成および設定後、コンピューティング専用ノードを HyperFlex クラスタに接続します。

ステップ	説明	参照先
1.	HyperFlex ストレージクラスタがすでに作成されていることを確認します。	

ステップ	説明	参照先
2.	コンピューティング ノードとなる HX サーバを接続します。	コンピューティング専用ノードのインストールの詳細については、 <a href="#">Cisco HyperFlex ノードの設置 (1 ページ)</a> を参照してください。
3.	Cisco HX Data Platform を使用してクラスタ展開ワークフローを実行します。	コンピューティング専用ノードを追加するには、クラスタの展開ワークフローを使用します。詳細な手順については、 <a href="#">既存のクラスタへのコンピューティング専用ノードの追加</a> を参照してください。

